

第50回本試験ライティング問題 模範解答例

2019年11月23日に行われました、第50回本試験ライティング問題の模範解答を記載いたします。本試験ではライティング問題として実際にテーマに沿った文章を作成して頂きます。次回以降の本試験の参考にしてください。

【解説】ライティング問題は減点方式を採用しています。

日本クラウドソーシング検定協会ホームページの解答速報および問題例

(https://crowd-kentei.or.jp/about_test/grading/)

ではより詳しくライティング問題のルールを記載しておりますので、是非ご参照ください。

模範解答では下記の点などを守っています。

- ・キーワードは必ず文中で使用してください。
- ・記述すべきテーマから外れないように記述してください。
- ・規定された文字数を超えないようにしてください。
- ・「です・ます」「である・だ」等表記の統一を行ってください。
- ・主語、述語等は正しく使用してください。

【問.1】電子決済について240文字以上300文字以内で記述してください。

*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*キーワードは必ず文章内で使用してください。

*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】電子決済の普及により、商品やサービスの支払いが楽になったという方も多いのではないのでしょうか。

キーワード1：ポイント還元

キーワード2：コンビニ

【模範解答1】295文字

電子決済に対応した店舗が増え、現金を持ち歩かない人も現れました。特にコンビニでは普及が早く、ほとんどの店舗がクレジットカード、電子マネーやQRコード決済などに対応しています。カードや端末をかざすだけでスピーディに支払いが済む点は、お客とレジのスタッフ双方にメリットが大きいといえます。

経済産業省がキャッシュレス決済に対するポイント還元制度を開始したことも電子決済が広がっている要因のひとつです。対象店舗において電子決済で買い物すると、2%または5%がポイントとして還元されます。背景に節約意識の高まりもあるようですが、電子決済を利用し、ポイントを有効活用していく人が今後も増えていくことでしょう。

【模範解答2】285文字

電子決済とは、商品・サービスの代金を電子的データで用いて決済する仕組みのことで、キャッシュレス決済と

も呼ばれています。その名のとおり、紙幣・硬貨を使用することなく買い物をすることができます。その便利さから頻繁に利用しているという方も多いのではないのでしょうか。電子決済では、専用端末にカードやスマートフォンをかざすだけで支払いができるため、スムーズな会計になるというメリットがあります。そのほかには、使用頻度やサービスによって**ポイント還元**が受けられるというメリットもあります。今では多くの**コンビニ**で電子決済が導入されており、日常生活に欠かせない決済の仕組みとなっています。

【模範解答 3】 297 文字

電子決済は、現金を持たずに買い物ができる便利さから、広く普及しています。それは手持ちが無くても支払えるだけでなく、電子決済による支払いで現金払いより**ポイント還元**率が良い事も理由としてあるようです。

特に**コンビニ**に立ち寄る機会が多い、若い年齢層に電子決済は好まれており、コンビニ別のポイントカードと合わせて提示すると多くポイントがもらえる等の嬉しい特典もあります。

また、飲食店や買い物先で電子決済ができるお店が増えてきたので、普及率は若年層に留まる事はありません。一番のメリットは便利さですが、手持ちの現金が可視化されないと使いすぎるというデメリットもあるので、支払い金額を管理する必要はあります。

【問.2】 ハンバーグについて 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*キーワードは必ず文章内で使用してください。

*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】 ハンバーグは幅広い世代で人気な料理といえるでしょう。

キーワード1：お店

キーワード2：子供

【模範解答 1】 296 文字

ハンバーグは**子供**たちに人気の料理なので、ファミリーで食べに行くことも多いのではないのでしょうか。パパやママとしては価格も気になる場所ですが、ファミリー層をターゲットにした、安さとボリュームが強みの**お店**を選ぶのがおすすめです。

休日を利用して家族みんなでハンバーグ作りに挑戦してみるのも素敵です。またハンバーグは玉ねぎを炒める・タネをこねるなどなかなか手のかかる料理です。しかし家族で分業して行えば効率よく作業できるという利点があります。そして、子供にとっても大好きなハンバーグがどうやってできるのか知る良い機会になります。パパやママと一緒に作業した経験は、忘れられない思い出になることでしょう。

【模範解答 2】 240 文字

子供のころ、お弁当のおかずとしてハンバーグが入っていると、とてもテンションがあがったという方も多いことでしょう。最近では、最高級の国産牛肉を使用したハンバーグを提供している**お店**も多く、その人気は子供だけではなく大人にまでも広がっています。日本のファミリーレストランではハンバーグは主力メニューであり、和風ハンバーグやカレーハンバーグといった豊富なバリエーションのメニューが存在しています。お店でも家庭でも気軽に食べられるハンバーグは、私たちにとってとても親しみ深い料理といえます。

ではないでしょうか。

【問.4】朝寝坊しないための対策について 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*文字数は下にカウントされています。ご参考下さい。

*書き出し例文を参考にして文章を書いてください。書き出し例文をそのまま使用することは禁止です。

*この問題にキーワードはありません。自由に記述してください。

【書き出し例文】寒くなってくると、布団から出れずに寝坊してしまう方も多いのではないのでしょうか。

【模範解答 1】 390 文字

夜は得意だけど朝が苦手、という若い人が多くなってきています。ゲーム、スマートフォンなどに興じているうち、知らない間に深夜遅くなってしまい、結果、朝寝坊してしまう人が少なくないようです。

朝すっきり起きられるようになるためには、前日の過ごし方が重要になります。日中は日光を浴び、適度に運動し、寝る直前までスマートフォン、テレビなどは見ず、お風呂は寝る 1 時間半以上前までに入っておく、などの対応をすると良いようです。

また快適に起きるコツとして、睡眠時間を 1.5 時間の倍数に設定すると良いとされています。これはレム睡眠とノンレム睡眠による各サイクルの区切りに合わせた時間です。床に入る時間から、4.5 時間後、7.5 時間後など、このサイクルにあった起床時間を設定すると、スムーズな目覚めを迎えられやすくなるようです。大切な会議や重要な試験がある日の前日は、このような方法を試してみたいかがでしょうか。

【模範解答 2】 332 文字

冬になるとついつい二度寝してしまい、朝寝坊をした経験をもった方は多いことでしょう。では、朝寝坊しないために大切なこととは何でしょうか。もっとも大切なのは、アラームのセットの仕方かもしれません。寝る前に入念にアラームをかけている人は多いですが、実は重要なのはアラームをセットする場所です。枕元に置いていただけでは、鳴った瞬間に止めてしまい、また眠ってしまうなんてことが起こりかねません。結果として、ベッドから強制的に起き上がる状況を作り出すことが、朝寝坊しないために最も効果的な対策となります。またセットする数もひとつではなく複数置くと、より効果的でしょう。ついつい布団から出にくくなる冬の時期、朝寝坊しないためにも、これらの対策を考えてみるのも良いかもしれません。

【模範解答 3】 386 文字

寝坊したせいで朝の時間をあたふた過ごした、という経験をした方も多いのではないのでしょうか。そんな朝寝坊の対策としてもっともポピュラーな方法は目覚まし時計ですが、目覚まし時計を止めてまた布団にもぐってしまう、なんてこともあります。これを防ぐ方法のひとつに、冷暖房をタイマー予約しておくことがあります。快適な温度に設定された部屋なら布団から出る気になりやすいでしょう。

また、朝イチでやるべきこと、あるいは楽しみなものを枕元にスタンバイさせておくのも有効です。前日やり残したことをメモして目覚まし時計の下に置いておくと、目に入ったときに「やらなきゃ」のスイッチが入るものです。また、朝イチにコーヒーを飲むことが楽しみならば、コーヒー豆やカップなどコーヒーが連想できるものを置いておくのもおすすめです。やるべきことを済ませたり、ゆったりくつろいだり、有意義な朝時間を過ごせそうです。

ライティング問題-総評-

第50回 WEB ライティング技能検定 本試験を受験頂いた皆様、お疲れ様でした。

ここでは今回の第50回 WEB ライティング技能検定 本試験 ライティング問題の総評をお伝えいたします。

今回の本試験では、4 択問題において満点、または満点に近い得点の方がほとんどでした。4 択問題は引き続き満点を目指す気持ちで学習を続けて下さい。

実技のライティング問題では、クラウドソーシング上では納品物として承認され難く試験上でも大きく減点対象となる内容（例えば主観的な表現や違うテーマの文章など）が見受けられた他、同様な表現の繰り返し、誤変換や誤入力、短い文章の連続、助詞の使用法や誤字など細かいミス、文章表現として不自然さが感じられるものが目立ちました。今回惜しくも不合格となってしまった方は、本協会より案内しております解答速報、総評、また教材などをご参考にライティングスキル向上を目指し、学習に励んで下さい。

ライティング問題の総評では、より細かく、一部の方の解答を参考にしてご説明いたします。

まだライティングに自信がない方もライティングに自信がある方も総評を参考に学習して頂ければ幸いです。

*今回受験頂いた方の中から主な減点対象を抜粋して総評に加えさせて頂いております。

実技 ライティング問題の個別解答に対する減点箇所

問1 電子決済について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード1：ポイント還元 キーワード2：コンビニ

【解答例 1】

「電子決済は、現金を持たずに買い物が**出来る**便利さから、広く普及しています。」

「また、飲食店や買い物先で電子決済が**できる**お店が増えてきたので、普及率は若年層に留まる事はありません。」

上記解答例では1つの文章中に「出来る」「できる」のように異なる表現が混在しています。

【修正例 1】

「電子決済は、現金を持たずに買い物が**できる**便利さから、広く普及しています。」

上記修正例では、「できる」に統一しました。同一の文章内に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしまいますので注意しましょう。またこのようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 2】

「節約意識の高まりを背景に、電子決済を利用し、ポイントを有効活用していく人が今後も増えていくことでしょう。」

上記解答例は、一文に助詞である「を」が多用された文章です。

【修正例 2】

「節約意識の高まりから、電子決済を利用し、ポイントを有効活用していく人が今後も増えていくことでしょう。」

上記修正例は、文意を鑑みて助詞の数を整え、自然な形で修正いたしました。同じ助詞を多用してしまうことで、読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。

【解答例 3】

「会計を電子決済で済ませる」

上記解答例は、同様の表現を繰り返してしまっております。

【修正例 3】

「会計を電子マネーで済ませる」

「決済」は「支払を行い、取引を終了させる（済ませる）」という意味になりますため、「電子決済で済ませる」という表現では「済ませる」が重複してしまいます。重複表現は、口語（会話）では使用しても大きな問題は無いですが、文章にすると読者に違和感を与えかねません。また WEB ライティングのお仕事として納品するとクライアントから承認を得られない場合もありますので注意しましょう。

このようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 4】

「この決済方法が進むと、レジが効率化され、人件費を節減できることにつながります。利用者は、現金を持ち歩き、銀行口座から都度お金を引き落とす必要がなくなります。」

上記解答例では、文と文の間に適切な接続詞が使用されておられません。

【修正例 4】

「この決済方法が進むと、レジが効率化され、人件費を節減できることにつながります。また利用者は、現金を持ち歩き、銀行口座から都度お金を引き落とす必要がなくなります。」

上記修正例では、接続詞「また」を追記いたしました。適切な接続詞を用いることでその前後の文章が繋がり、読みやすい文章になります。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例 5】

「便利さが一番のメリットですが、手持ちの現金が可視化されないと使いすぎるデメリットがあるので、支払い金額の管理が必要です。」

上記解答例は、一文に助詞である「が」「の」が多用された文章です。

【修正例 5】

「一番のメリットは**便利さ**ですが、手持ちの現金が可視化されないと使いすぎるという**デメリット**もあるので、**支払い金額を管理する必要はあります。**」

上記修正例は、文意を鑑みて助詞の数を整え、自然な形で修正いたしました。同じ助詞を多用してしまうことで、読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。

問 2 ハンバーグについて 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード 1 : お店 キーワード 2 : 子供

【解答例 1】

「肉の比率が**高く**肉汁が多いタイプ、つなぎが多めでふわふわとした食感の柔らかいタイプ、」

上記解答例では、「高く」が誤入力となります。

【修正例 1】

「肉の比率が**高い**肉汁が多いタイプ、つなぎが多めでふわふわとした食感の柔らかいタイプ、」

上記修正例では、誤入力を修正しました。「高い」が正しい表現となります。

特に WEB ライティングでは誤字脱字、誤入力が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤入力だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 2】

「デミグラスソースだけでなく、大根おろし**を**掛けたり、ポン酢**を**かけたりと、ソース**を**変えてもおいしくなります。」

上記解答例は、一文に助詞である「を」が多用された文章です。

【修正例 2】

「デミグラスソースだけでなく、**大根おろしやポン酢をかけるなど**、ソースを変えてもおいしくなります。」

上記修正例は、文意を鑑みて助詞の数を整え、自然な形で修正いたしました。同じ助詞を多用してしまうことで、読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。

【解答例 3】

「ファミリー層をターゲットにした、**安さとボリュームに強みがあるお店を選ぶのがおすすめです。**」

休日を利用して家族みんなでハンバーグ作りに挑戦してみるのも素敵です。」

上記解答例では、文と文の間に適切な接続詞が使用されていません。

【修正例 3】

「ファミリー層をターゲットにした、安さとボリュームに強みがあるお店を選ぶのがおすすめです。また休日を利用して家族みんなでハンバーグ作りに挑戦してみるのも素敵です。」

上記修正例では、接続詞「また」を追記いたしました。適切な接続詞を用いることでその前後の文章が繋がり、読みやすい文章になります。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例 4】

「以外に知られていないのがその歴史です。」

上記解答例では、「以外」が誤変換となります。

【修正例 4】

「意外に知られていないのがその歴史です。」

上記修正例では、誤変換を修正しました。「意外」が正しい表現となります。

特に WEB ライティングでは誤字脱字、誤変換が起りやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤変換だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 5】

「ハンバーグは玉ねぎを炒める・タネをこねるなどなかなか手のかかる料理です。家族で分業して行えば効率よく作業できるという利点があります。」

上記解答例では、文と文の間に適切な接続詞が使用されていません。

【修正例 5】

「ハンバーグは玉ねぎを炒める・タネをこねるなどなかなか手のかかる料理です。しかし家族で分業して行えば効率よく作業できるという利点があります。」

上記修正例では、接続詞「しかし」を追記いたしました。適切な接続詞を用いることでその前後の文章が繋がり、読みやすい文章になります。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

問 3 照明について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード 1 : 暮らし キーワード 2 : インテリア

【解答例 1】

「壁に入りこんだ天井用のウォールウォッシャー、ダウンライト、フットライト等の照明は、見た目もすっきりしており、知的な雰囲気の家に見えます。」

上記解答例は、一文に助詞である「の」が多用された文章です。

【修正例 1】

「壁に入りこんだ天井用のウォールウォッシャー、ダウンライト、フットライト等の照明は、見た目もすっきりしており、家を知的な雰囲気に見せます。」

上記修正例は、文意を鑑みて助詞の数を整え、自然な形で修正いたしました。同じ助詞を多用してしまうことで、読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。

【解答例 2】

「特別な日だけは間接照明で過ごすなど、シーンに合わせて照明の使い方を変えるのも素敵です。」
「住まいをより安らげる空間にするため、照明にこだわるのも楽しいですね。」

上記解答例は、口語表現と文語表現が混在する文章です。

【修正例 2】

「住まいをより安らげる空間にするため、照明にこだわるのも楽しいです。」

上記修正例では「楽しいですね」の口語表現を「楽しいです」という文語表現に修正を行いました。このように口語表現と文語表現が混在してしまうと、場合によって読者に違和感を与えてしまいますので注意しましょう。

【解答例 3】

「壁に飾るアートの中に飾る」

上記解答例は、同様の表現を繰り返してしまっております。

【修正例 3】

「壁に飾るアートの中に使用する」

上記修正例では、文意を鑑みて繰り返し表現にならないよう修正を行いました。

同様の表現を繰り返してしまうと、読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。

またこのような事は文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 4】

「インテリアの中で重要となるのが照明です。照明を変えるだけで部屋の雰囲気はかなり変わるでしょう。」

上記解答例は、短い文が連続した表現となっております。

【修正例 4】

「インテリアの中**でも**重要となるのが照明で、**ちょっと種類を**変えるだけで部屋の雰囲気はかなり変わるでしょう。」

上記修正例では文意を鑑みながら、2つの短文を1文にまとめる形で修正いたしました。

短文での表現は、文章に勢いを付ける意味では有効ですが、主語が抜けた表現などとなり口語（話し言葉）に近い表現となってしまいます。また、このような表現は試験では減点対象となっておりますので、短文表現はあまり使わないように注意しましょう。

【解答例 5】

「たとえば、暖色系の電球**を**使用した照明**を**一つ置くことで、カフェのような落ち着いた空間**を**作り出すことが可能です。」

上記解答例は、一文に助詞である「を」が多用された文章です。

【修正例 5】

「たとえば、暖色系の電球を使用した照明を一つ置くことで、カフェのような落ち着いた空間**が作り出せます。**」

上記修正例は、文意を鑑みて助詞の数を整え、自然な形で修正いたしました。同じ助詞を多用してしまうことで、読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。

問 4.朝寝坊しないための対策について 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

キーワード なし

【解答例 1】

「朝起きられない**理由**として、夜更かしをしてリズムが崩れる、お酒を深く飲む、二度寝してしまう等の**理由**が挙げられます。」

上記解答例は、同様の表現を繰り返してしまっております。

【修正例 1】

「朝起きられない理由として、夜更かしをしてリズムが崩れる、お酒を深く飲む、二度寝してしまう**等が挙げられます。**」

上記修正例では、文意を鑑みて繰り返し表現にならないよう修正を行いました。

同様の表現を繰り返してしまうと、読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。
またこのような事は文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしまし
う。

【解答例 2】

「コーヒー豆やカップなどコーヒーを連想させるものを置いておくのが**おすすめです。**」
「やるべきことを済ませたり、ゆったりくつろいだり、有意義な朝時間を**過ごせそうですね。**」

上記解答例は、口語表現と文語表現が混在する文章です。

【修正例 2】

「やるべきことを済ませたり、ゆったりくつろいだり、有意義な朝時間を**過ごせそうです。**」

上記修正例では「過ごせそうですね」の口語表現を「過ごせそうです」という文語表現に修正を行いました。こ
のように口語表現と文語表現が混在してしまうと、場合によって読者に違和感を与えてしまいますので注意しま
しょう。

【解答例 3】

「毎日**の**メニューで悩む方**の**最高**の**味方とも言えるでしょう。」

上記解答例は、一文に助詞である「の」が多用された文章です。

【修正例 3】

「毎日のメニューで悩む方**にとって**最高の味方とも言えるでしょう。」

上記修正例は、文意を鑑みて助詞の数を整え、自然な形で修正いたしました。同じ助詞を多用してしまうことで、
読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。

【解答例 4】

「あるいは**朝イチ**の楽しみを枕元にスタンバイさせておくのも有効です。」
「**朝一番**にコーヒーを飲むことを楽しみにしているのなら」

上記解答例では1つの文章中に「朝イチ」「朝一番」のように異なる表現が混在しています。

【修正例 4】

「**朝イチ**にコーヒーを飲むことを楽しみにしているのなら」

上記修正例では、「朝イチ」に統一しました。同一の文章内に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を
与えてしまいますので注意しましょう。またこのようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。

文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 5】

「ゲーム、スマートフォンなどに興じているうちに知らない間に深夜遅くなってしまい、結果、朝寝坊してしまう人が少なくないようです。」

上記解答例は、一文に助詞である「に」が多用された文章です。

【修正例 5】

「ゲーム、スマートフォンなどに興じているうち、知らない間に深夜遅くなってしまい、結果、朝寝坊してしまう人が少なくないようです。」

上記修正例は、文意を鑑みて助詞の数を整え、自然な形で修正いたしました。同じ助詞を多用してしまうことで、読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。

実技 ライティング問題の総合的な減点箇所

今回受験頂いた方の内、惜しくも不合格となられた方々に共通する減点箇所としては、助詞の連続使用や使い方、表記ゆれ、短文の連続、誤字脱字や誤変換などが多く見受けられました。

そして、主観的な文章表現や文脈的に不自然さを感じさせる内容は、読者に読み難さを与えてしまうだけでなく、クラウドソーシング上でも非承認となりやすい文章となります。特に文章中の主語は何なのか、が不明確になると不自然さが強くなってしまいますので注意しましょう。

他にも一文に情報を詰め込み過ぎしまうと、助詞の連続使用など意図しないミスが多くなる場合があります。ライティングを終えた際には文章の見直しを行い、誤った表現や意味が通り難い文章の有無などを確認するようにしましょう。